

魚沼民商だより

2024年
10月 21日
第2414号

〒946-0032

発行 魚沼民主商工会
新潟県魚沼市板木
電話025(792)3064
e-mail: uminsyo@rose.ocn.ne.jp

総選挙、消費税・インボイス、各政党の態度は！

石破首相は9日、衆院を解散し15日公示、27日投開票の総選挙に突入しました。



この総選挙は自営業者を苦しめてきた自公政治に厳しい審判を下す絶好の機会です。

前総選挙は2021年（令和3年）10月31日に行われました。この頃は新型コロナウイルス感染症がまだまだ流行し続けており、すべてのモノが物価高騰し続けはじめていた時でした。世界的にこうした状況下の中で101超の国・地域で消費税（付加価値税）の減税措置をとり、経済対策の一つとして打ち出しました。

しかし我が国はこれまでに消費税5%減税に引き下げるところか昨年10月1日からインボイス制度を導入しました。これは自営業者・国民には背を向け、大企業・財界人にしか目が向かない自公政治の大本がここにあります。

私たち民商は商工新聞（10月21日）を活用しながら総選挙の争点を明確にし、すべての集まりで総選挙の意義などを深めていきます。さてここで参考までに各政党の総選挙マニフェストの一部（※消費税・インボイスに対する態度及び政策の部分について）を紹介致します。

自民党・公明党は、消費税・インボイスについては何一つ語ろうとはしていません。これは自営業者に背を向けていることの姿勢です。

立憲民主党は、「給付付き税額控除」（消費税還付制度）を導入し、インボイス制度は速やかに廃止します。しかし消費税減税・中止についてはひと言も触れられていません。

日本維新の会は、自民党と公明党と同様に消費税・インボイスのことにについては何も語ろうとはしていません。

日本共産党は、消費税の廃止をめざし、当面緊急に税率を5%に引き下げます。インボイス制度を廃止しますと主張しています。

国民民主党は、消費税を実質賃金が持続的にプラス的になるまで一律5%に減税、インボイス廃止と主張しています。

れいわ新撰組は、消費税廃止、インボイスも廃止と主張しています。

社民党は、消費税を3年間ゼロにしますと、大企業がため込んだ内部留保に4%課税で消費税ゼロは実現できると指摘しています。インボイスのことも触れて欲しいと思いました。

さてにわか掲載で御座いますので落ち度があるうかと思いません。ご了承ください。

塩沢・どこへでも大歓迎、会員訪問を行いました！

10月8日、塩沢支部は中澤会長（宿泊）を先頭に共済会加入促進と併せて会員訪問を行いました。この日の行動に3人が参集し会員宅13軒訪問（留守3軒舎）しました。

訪問先では、「お元気ですか。ご商売はどうですか」とお互いの近況を出し合いながら、定額減税について、定額減税調整給付金申請について、インボイスについて等と久しぶりに会員ど

うしの交流が図られました。



当面の日程について

- 大腸ガン検診 10月21日
- 県要求運動推進委員会 10月24日
- 県青協・県青対部合同会議 10月26日
- 三役会 10月30日
- 労保連研修会 11月1日
- 理事会 11月5日
- 婦人部幹事会 11月11日
- 記帳申告サポーター育成講座 11月17日

**会費は月内納入を
宜しくお願い致します**